

企業名

パナソニックモバイルコミュニケーションズ 株式会社

認定事由(安全衛生優良企業として評価できる事項)の概要

1. 総合的な健康・安全衛生活動の実施計画を確立し、安全衛生委員会を主軸とした計画の達成状況の経常的な検証結果を次期・計画に反映するP D C Aのしくみが確立されている

「ストレスチェック実施計画」「心の健康づくり計画」「喫煙対策 3 か年計画」「T H P 計画」を含め、安全衛生管理体制の充実、労働災害の防止、緊急事態への対応、作業環境管理、化学物質管理、健康管理と保持・増進、メンタルヘルス、禁煙の推進、安全衛生・健康教育などの総合的な健康・安全衛生活動実施計画を樹立しており、樹立した計画は、認証取得済みの IS09001・14001 の要求事項の履行やパナソニック・グループ全体の「パナソニック労働安全衛生ポリシー」の重点でもある安全衛生マネジメントシステムの運用を通じて、安全衛生委員会を主体に、達成状況の経常的な検証と検証結果の次期・計画への反映までのP D C Aを通じながら着実な実行を図っている。

また、安全衛生委員会の議事内容等にとどまらず、(休業・不休を問わず)労働災害・事故・ヒヤリハット事例等を含む安全衛生に関わる情報全般は、グループ全体のイントラネットで全従業員に周知され、さらに意識調査や経営提言アンケート等による全従業員からの意見集約を通じて、次期・健康・安全衛生活動実施計画へのボトムアップによる意見反映が図られている。

2. 独自・開発の勤怠管理システムを活用した長時間・過重労働削減の取組を進展させ、企業独自の「過重労働撲滅に向けた緊急対策」・「働き方改革」に向けた積極的な取組を進めている

3 6 協定による限度を下回る水準で労働者・本人が設定した時間外労働時間数・上限と実時間外労働時間数の関係を監視する、独自開発の勤怠管理システム(E P O C H システム)によって、労働者・本人の自己管理を容易にしているほか、管理者による各労働者の実態把握・承認を通じた各労働者と管理者のコミュニケーションを活性化によって、時間外労働の削減に積極的に取り組んでいる。また、勤怠管理システムとリンクさせたマクロにより、各労働者の時間外労働と年次有給休暇取得の状況を労働組合と共有し、労使一体で「過重労働撲滅に向けた緊急対策」を推進している。

また、フレックスタイム制度や「e-W o r k @H o m e」(在宅勤務)制度の導入によって、病気の治療や育児・介護と仕事の両立を要する労働者を支援するしくみを整備、ワークライフバランスの実現を目指す「働き方改革」を積極的に進めている。

3. 健康保持・増進に向けた取組に積極的で継続的な熱意が認められる

申請企業と親会社:パナソニック(株) コネクテッドソリューションズ社 が「喫煙対策 3 か年計画」を主導し、パナソニック(株)の傘下企業 数十社が混在する佐江戸地区校内の

屋内全面禁煙を実現した(平成 28 年 5 月末)ほか、 会社・労組と健康保険組合の協働による健康保持増進のための各種イベント(競技玉入れ大会、横浜ウォーキングポイントへの参加、チーム対抗ウォークラリーイベント等)を企画しながら併せて従業員が参加し易い環境づくりを行うなど、健康保持・増進を計画的・積極的に取り組んでる。

4. 厚生労働省「あんぜんプロジェクト」への参加によって安全衛生活動の「見える化」を進めている

厚生労働省の「あんぜんプロジェクト」に参加し、「安全衛生活動を通じて『働く人』『企業』『家族』が元気になる職場を創る」というパナソニック・グループ全体の労働安全衛生ポリシー、企業独自の安全衛生活動方針を内外に宣言することによって、安全衛生活動の「見える化」を積極的に進めている。

5. 横浜市「横浜健康経営認証」の最高ランク“クラスAAA”を獲得

以上のような安全衛生活動への積極的な取組が評価されて、横浜市(経済局・健康福祉局)による「横浜健康経営認証」制度の平成 29 年度・認証の最高ランク“クラスAAA”を申請企業 と親会社:パナソニック(株)コネクテッドソリューションズ社 があわせて獲得、「事業所内の健康課題に対し、単なる啓発や働きかけにとどまらず、楽しく自然に健康づくり活動ができるような様々な企画を展開、取組前後のデータ変化を定量的に評価し、改善が必要なものは安全衛生委員会等で検討」しているとの高評価を受けている。

安全衛生取組事例 (以下のとおり)

健康・安全衛生活動紹介

パナソニック モバイルコミュニケーションズ(株)

 Panasonic

Contents

● STOP！転倒災害の取組

- 啓発・注意喚起
- 環境の改善
- 通勤路の改善
- 人の改善

● 健康づくり推進の諸施策

- ウォークラリー
- 安養寺スポーツ塾（女子陸上部とのコラボイベント）
- よこはまウォーキング
- ウォーキングコース整備
- AJTA(ニュースポーツ玉いれ)

● 喫煙対策3カ年計画の挑戦

- 背景・コンセプト
- 具体的施策
- 成果

Panasonic

Contents

● STOP！転倒災害の取組

- 着眼点
- 啓発・注意喚起
- 環境の改善
- 通勤路の改善
- 人の改善

● 健康づくり推進の諸施策

- ウォークラリー
- 安養寺スポーツ塾（女子陸上部とのコラボイベント）
- よこはまウォーキング
- ウォーキングコース整備
- AJTA(ニュースポーツ玉いれ)

● 喫煙対策3カ年計画の挑戦

- 背景・コンセプト
- 具体的施策
- 成果

Panasonic

転倒防止のための啓発・注意喚起活動

食堂スクリーンPR「転倒の予防のために」

「転倒の危険」

「転倒予防のためになすべきこと
(注意喚起表示、清掃、適切な靴等)」



「歩きスマホ」をやめよう



朝の出勤時の呼びかけ・オリジナルティッシュ配布

歩きスマホはやめましょう！



安全文化推進部 安全対策推進課



乗車待機



乗車口



乗車口

健康安全衛生ニュース（メルマガ）にてルールの呼びかけ

S9棟階段の注意喚起について

●転落事故防止のため、S9棟階段に各種注意喚起表示をいたしました。

●下記ルールを守り、危険な行動を見かけたら注意し合い、階段での事故を防ぎましょう。

(1)通行区分を守り、下りの人は手すりを使いましょう

(2)下り最後の一段に注意しましょう。注意喚起のために黄色の目印テープを貼りました。

(3)駆け下り・駆け上りをやめましょう

階段を通行する他の人を巻き込む事故を起こしかねない行為ですので、やめて頂きますようお願いいたします。

(4)スマホを見ながら・ポケットに手を入れての昇降はやめましょう

階段に限ったことではありませんが、ながら歩きはやめましょう。特に階段では命に関わりますので絶対にやめましょう。

(5)両手に物を持って足元が見えない状態での昇降はやめましょう。

足元が見えないと、踏み外しやすく、両手がふさがっていると受身が遅れます。大きな荷物は台車・エレベーターで運びましょう。

Panasonic

転倒防止のための環境の改善 床濡れの低減・段差の解消

吸水性の高いマットを数メートルの長さに



一般（吸水しきれない）



改善（吸水しきれる）

各棟出入り口に傘振り場の設置



段差の解消



最大3センチの段差



アスファルトで段差埋め



舗装のひび割れも段差



アスファルトで全面舗装しなおし

Panasonic

転倒防止のための環境の改善 階段の転倒防止施策

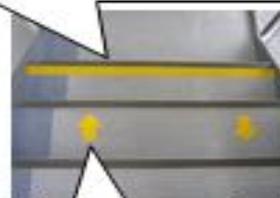


南北両地区の厚生棟の階段（片側手すり）に、手すりを増設し両側手すりに改良



注意喚起ポスター

下り最後の一段の注意喚起



左右通行区分



手すり使用の呼びかけ



外階段 下り最後の一段の注意喚起

Panasonic

通勤路での事故防止のための「ハザードマップでの注意喚起」と「行政への改善要請」

ハザードマップでの注意喚起



- 通勤路に不慣れな転入者の多い4月にHP掲載
- マップを例に各自通勤路の危険箇所を認識するよう呼びかけ

行政に危険箇所の改善要請



横断歩道のペイントがぼけている



横断歩道のペイント塗りなおし



横断歩道でスピードを落とさない自動車の設置



注意注意のペイント



「注意注意」のペイント



橋のたもとに設置



アスファルトで設置経路

Panasonic

人間自身のこなしの改善 モーニングストレッチの普及活動

- 目的：始業前のモーニングストレッチの実施普及により、転倒予防、VDT作業の疲労を軽減、気分リフレッシュで業務効率UPを図る。
- 内容：安全衛生委員会メンバー、健康管理室スタッフが、各職場に出向き、前でストレッチの見本を見せる事で安全・健康意識の向上を図る



Panasonic

Contents

● STOP！ 転倒災害の取組

- 着眼点
- 啓発・注意喚起
- 環境の改善
- 通勤路の改善
- 人の改善

● 健康づくり推進の諸施策

- ウォークラリー
- 安養寺スポーツ塾（女子陸上部とのコラボイベント）
- よこはまウォーキング
- ウォーキングコース整備
- AJTA(ニュースポーツ玉いれ)

● 喫煙対策 3カ年計画の挑戦

- 背景・コンセプト
- 具体的施策
- 成果

Panasonic

ウォークラリーイベントの開催

■ 目的

- 日常生活を活動的に過ごすことで「生活習慣病」の予防を図る
- いきいき健康ナビゲーションの活用により、登録率UPを目指す
- チーム対向で競い合うことでチーム内や他チームとの歩数の話題が増え、コミュニケーションUPを目指す
- 歩数を入力していくことで、歩数自覚率UPを目指す

■ 内容

パナソニック健保の「いきいき健康ナビゲーション ウォークラリー」にエントリー
1ヶ月間歩数を競い合い、上位者には表彰を行う
組合にてエントリーを推進

■ 期間

実施期間：10月1日（日）～10月31日（火）
案内：9月1日（金）～
エントリー期間：9月4日（月）～9月22日（金）
表彰：11月予定

■ 対象者

CNS・PMC佐江戸地区の社員

■ 賞品

総額約 ¥ 50,000
1位、2位、3位、フォトコンテスト特別賞 の賞品代として（会社負担）



24チーム89名に参加いただきました。

Panasonic

安養寺スポーツ塾（パナソニック女子陸上部とのコラボイベント）開催

■ 開催日時

日時：10月6日（金）18：00～19：30
場所：AIS 佐江戸車両試験場 大会議室

雨天の為、急遽、
雨の日企画に変更して開催
36名の方々にご参加頂きました

■ 内容

- 小柳コーチのランニング&ウォーキングアドバイス
- 質問コーナー
- 女子陸上部員からのメッセージ
- 記念撮影



小柳コーチの熱心な指導



選手の方々と腕振り練習、70回！



安養寺監督からのビデオメッセージ

Panasonic

よこはまウォーキングポイントへの参加

「ウォークラリー」PR時に合わせて参加者募集
↓
「ラリーの開催期間後」の運動習慣の継続・定着を図る

参加者
2016年 54名
2017年 14名

- 対象者
 - 18歳以上の横浜市民（家族含む）、横浜市内の事業所に勤務されている18歳以上の方
- 参加目標数
 - 平成26年度から平成29年度までの4年間で30万人
- 内容
 - 参加者に歩数計を無償で送付（※送料の負担あり）
 - 市内約1,000か所の協力店舗・施設に設置されている専用リーダーに歩数計をのせると、歩数に応じてポイントが貯まる
 - 一定ポイント以上の方は、3,000円相当の商品券等が当たる自動抽選に参加できる
 - パソコンやスマートフォンなどで、参加者自身の歩数・消費カロリー等の推移や、歩数ランキングなどを確認できる
 - 参加者全員の平均歩数が目標を上回った月は、国連WFPに20万円の寄付を行う（※国連WFP：飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関）
- よこはまウォーキングポイント WEBサイト
 - <http://enjoy-walking.city.yokohama.lg.jp/walkingpoint/>

個人のペースで歩いて
健康&ポイント獲得

Panasonic

ウォーキングコースの整備

- ねらい
 - 昼休み・休憩時間などに、ウォーキングできるコースを設置し、**運動習慣の定着**を図る
- 仕様
 - 佐江戸南地区・北地区構内の外周それぞれ約800mのコース
 - 100mごとに目安となる看板（下右図）を設置
 - 看板は距離・歩数のほか、「コツ」「運動習慣定着の一言アドバイス」など
- 運用企画
 - 毎年秋のウォークラリーの際に、PRキャンペーン
 - 女子陸上部との期間限定看板の設置でリフレッシュ



ウォーキングのコツ アドバイス看板



運動習慣定着の一言看板



期間限定
女子陸上部コラボ看板



Panasonic

AJTA(ニュースポーツ玉いれ)大会の開催

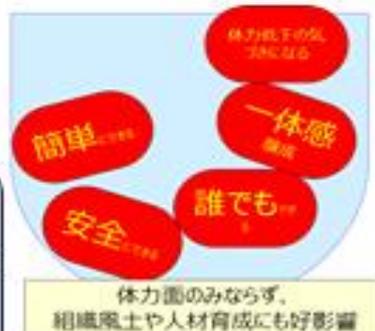
1チーム4～6名で、100個のボールをバスケットに
いかに早く投げ入れられるかを競うスポーツ

バスケットの高さ4.12m



バスケット1個に主審・副審が
一人ずつつき、厳正に計時。

毎年1回定例で開催
社員の体力増進と共に
コミュニケーションの向上
を図る。
23チーム 138名
が参加



職場のみなさんで応援。
楽しくコミュニケーション。



試合前に568人でラジオ体操。
怪我のないように準備運動はしっかり。

Panasonic

Contents

● STOP！ 転倒災害の取組

- 着眼点
- 啓発・注意喚起
- 環境の改善
- 通勤路の改善
- 人の改善

● 健康づくり推進の諸施策

- ウォークラリー
- 安養寺スポーツ塾（女子陸上部とのコラボイベント）
- よこはまウォーキング
- ウォーキングコース整備
- AJTA(ニュースポーツ玉いれ)

● 喫煙対策3カ年計画の挑戦

- 背景・コンセプト
- 具体的施策（喫煙所屋外化の計画と実施、世論形成）
- 成果（「喫煙率低下」と「隠れ受動喫煙の解消」）

Panasonic

喫煙対策3カ年計画の背景・コンセプト

喫煙しやすい環境



減らない喫煙率



喫煙者自身の受動喫煙をもたらす喫煙所

喫煙室内の煙の濃度は非常に高い

- 自分や他人が吐いた煙・副流煙が濃厚に充満

隠れ受動喫煙

- 普通の喫煙 + (喫煙者自身の) 受動喫煙 + 副流の喫煙行為
- サーカスノースモーク (Third hand Smoke)

屋内喫煙所を廃止することで

禁煙を促進する

「受動喫煙」を排除する

経営にとって合理的な選択をする

Panasonic

具体的施策 喫煙所の屋外化の計画

■ 主な通路・出入口から適当に離して設置

- 「喫煙場所は施設の出入口から極力離す措置が必要」
- 屋外喫煙場所は、出入口から極力離す
- 人の通る道（動線）からも離さなければならない。
- 各棟職場にとって、できるだけ公平に



■ 実際に煙が流れ込まないか検証

- 粉塵計で測定
- 測定結果に問題があれば、喫煙所の改造・位置変更も



設置前のバックグラウンドの測定



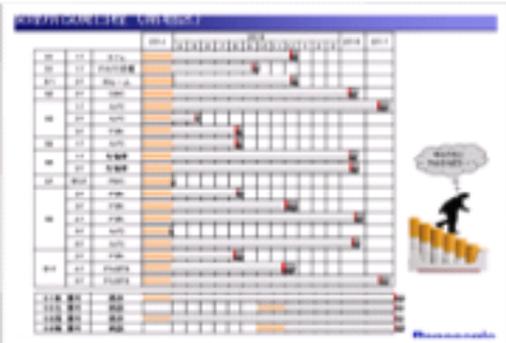
設置後の測定・評価



Panasonic

具体的施策 計画のオーソライズ・社内世論のチェック・計画の前倒し

屋内喫煙所の段階的解消の計画の発表



段階的解消途上での問題発生

問題点

- 段階的閉鎖により、**残存喫煙室に利用者集中**
- 排気能力を超え、**においの苦情発生**
- 屋内喫煙所の**臭害**（喫煙室の換気不足、排気口の臭い）が**加速**



イントラネットアンケートでの社内世論のチェック

全員アンケートの実施

- 「みんなでタバコと健康について考える」アンケート
- 3か年計画の評価
- 世論形成、健全で冷静な議論の醸成
- 禁煙しようかな、という気分の醸成
- 本心に「みんなが」「考える」「禁煙デー」に！

実施期間

第1期：2013年10月20日～2013年11月10日

第2期：2014年1月～2014年2月

調査対象

A・V・C棟全階 全従業員 1400名

調査方法

Webアンケート（匿名）

回収率：92.7%

回答率：37.8% (710名)

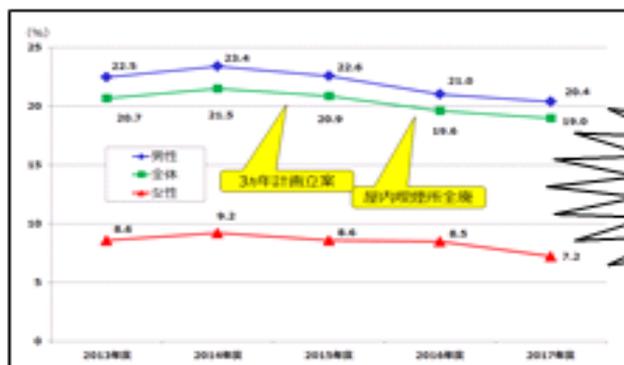


屋内喫煙所の一斉前倒し廃止の発表



Panasonic

成果



永年20%で横ばいだった喫煙率はついに、**19%台**に！

喫煙者自身の
隠れ受動喫煙を解消



Panasonic